



# さんぽみち

2025年12月26日

第103号

■発行者  
兵庫県立リハビリテーション中央病院  
〒651-2181  
神戸市西区曙町1070  
TEL (078)927-2727  
FAX (078)925-9203  
<https://www.hwc.or.jp/hospital>

## 医療サービス向上のためにDX推進にチャレンジ!

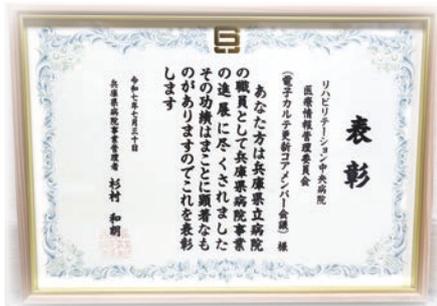
みなさんは「DX(デジタルトランスフォーメーション)」という言葉を知っていますか?DXとは、デジタル技術を活用して、業務の進め方やサービスの質をより良いものへと変えていく取り組みのことです。当院も患者さんにより良い医療・リハビリテーションを提供するために医療情報の管理やデータの分析・活用に向けてデジタル基盤の充実とテクノロジー活用を推進しているところです。今年度は電子カルテの更新をきっかけに既存システムの見直しに取り組んでいます。今後もデジタル技術を活かして、医療サービスの向上を目指していきます。

### 兵庫県病院局職員表彰(管理者表彰) 団体を受賞しました

令和7年度兵庫県病院局職員表彰(管理者表彰) 団体で、当院から

#### 電子カルテ更新コアメンバー会議

院外処方への移行ワーキンググループ の2チームが表彰されました。



## 障がいを持ちながら「働く」をたずける ~多職種で考える社会参加~

令和7年11月26日(水)「社会参加~インクルーシブ社会の中で就労を考える~」をテーマに、**第18回中央病院職員研究発表大会**を開催しました。今年度から新たな取り組みとして、外部講師による指定講演が行われました。講演のテーマは「**医療職の方にも知って頂きたい、テレワークで広がる重度身体障がい者の新しい働き方**」です。講演中には実際に在宅で就労されている方のお話をWebで聞くこともでき、医療現場における支援の視点や就労の可能性について学ぶ貴重な機会となりました。各部署からは7題の演題発表が行われ、社会参加に向けた取り組みが紹介されました。職員間で理解を深め、多職種連携の重要性を再確認する大会となりました。今後も、職員一人一人が社会参加を支える医療を実践していきます。



## 県立病院学会に参加してー振り返りコメント集ー

令和7年9月6日（土）アクリエひめじで「第20回兵庫県立病院学会」が開催され、当院から9名が発表を行いました。

### リハビリ療法部 理学療法士 三星 健吾



今回発表させていただいたテーマは「バスケットボールにおける育成選手に対する外傷・障害予防支援の実践と課題～神戸ストークス U18 でのトレーナー活動から～」です。神戸ストークス U18 のサポート体制は、平日は柔道整復師が、土日は理学療法士が担当しています。職種の違いにより、共通用語や治療手技に関する理解の共有が求められました。そのため、Zoom やコミュニケーションアプリを活用して情報共有を行い、共通理解を深めています。今後は互いの治療現場を見学し合うことで、技術や知識の相互理解をさらに進め、選手へのサポートを一層充実させたいと考えています。また、職種の違いを弱点ではなく強みとして捉え、それぞれの専門性を活かすことで、より質の高い支援を提供していきます。



### リハビリ療法部 理学療法士 東 祐二

「当院のリハ専門職における iPhone 導入によるメリットと今後の展望について」と題して、今年度から導入された新しい電子カルテモバイル端末について発表しました。兵庫県内の病院においても、iPhone の導入や医療 DX を積極的に推進する病院はまだ少なく、当院は先駆的な取り組みとして注目されています。今回の調査で明らかになった課題を改善し、患者サービスの向上に努めてまいります。



### リハビリ療法部 作業療法士 安藤 芳久美

今回、「当院における回復期病棟退院後の訪問リハビリテーションに対する実態調査」として、令和2年度より当院で行っている訪問リハビリテーション事業について、利用者の変化や担当されたケアマネジャーへのアンケートの結果をまとめ、口述発表いたしました。自宅生活へ移行するときの支援の重要性や利用者の日常生活や社会生活の改善を改めて感じました。また、他県立病院の方々から質問を受けることで普段の取り組みを整理し当院の利点を明確にすることができました。今後、さらに利用者・家族が安心して自宅生活へ移行できるよう努めていきたいと思っております。



### 看護部 外来看護師 水間 菜花

県立病院学会で「下肢切断者の退院後の生活状況の把握と課題」についてポスター発表を行いました。退院後の下肢切断者の暮らしに影響する要因、外来看護師としての関わり方の課題を整理し、今後の支援の在り方を考える機会となりました。外来として今後地域との連携や継続的な支援体制づくりを外来スタッフ一同で取り組みたいと思っております。



### 看護部 3階東病棟看護師 早川 葉月



「回復期リハビリテーション病棟で認知機能低下がみられる高齢患者の看護」というテーマで発表しました。術後の認知機能の低下のある患者への対応は難しく、当病棟での看護を分析することで、説明の反復や行動の習慣化、家族への支援が重要と分かりました。今後も認知機能の低下のある患者がTHAを受けた後、安全に過ごせるように努めたいと思います。



### 看護部 3階西病棟看護師 木本 朋美



令和3年度にスポーツ医学診療センターが設立され、3階西病棟における手術件数は年間約200件から約1000件へと増加しました。中高生患者の入院も全体の約17%を占めています。この度「スポーツ外傷における入院・手術に伴う中高生患者の体験」というテーマで症例検討をし、患者との関わり方が明確化され、介入方法の手助けとなる結果が得られました。今後もより良い看護へと繋げていけるよう努めていきたいと思います。



### 看護部 3階新病棟看護師 上山 真愛

当病棟は病棟・小児睡眠担当・小児外来の3部門からなり、異動者も多いことからチームとしての団結力を強めるためにジョブ・クラブティングを導入しました。その成果を学会で発表し、個人ワークの内容について意見交換によって新たな知見を得ることができました。また、他病院の発表から業務改善の工夫を学ぶことができました。今後も看護師自身が安心して仕事に取り組めるよう業務改善や自身のスキル向上を目指します。



### 看護部 4階西病棟看護師 劉 貴史

「パーキンソン病及びパーキンソン症候群の転倒転落リスク評価表を用いたアプローチ」というタイトルでポスター発表をさせて頂きました。評価表を用いて患者さんの自宅での状況を把握し対策を立てる事で転倒予防に繋がりました。この取り組みを県立病院学会で発表する事で、様々な職種の方のアドバイスを受ける貴重な機会となりました。今回の学会での学びを活かし今後もパーキンソン病患者さんの転倒予防に努めていきたいと思います。



### 看護部 5階東病棟看護師 前田 和利

「ベッドサイドにおける安全対策に関する実態調査」というテーマで発表をさせて頂きました。患者さんやご家族が安心して入院生活を送れるようにスタッフ全員で安心・安全な看護をしていきたいと思っています。他の県立病院の方々の発表を聴講して、私たちの病棟でも活用できる実践もあり、学びを深めることができました。



病院の中央入口に設置されたポインセチアです！



## 県民公開講座開催のご報告

令和7年9月28日（日）明石市の子午線ホールにて、「膝関節疾患に関する予防と最先端治療～自分でできることから再生医療まで～」をテーマに、第10回県民公開講座を開催しました。医師、理学療法士、薬剤師が、それぞれの立場から講演を行いました。当日は230名もの参加者があり、講演会はおかげさまで大盛況となりました。



## ロビーコンサート再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたロビーコンサートを10月31日から再開しました。再開後は11月・12月を含め計3回開催し、ピアノ演奏やフラダンスなどのコンサートが行われました。会場には多くの患者さんが集まり、手拍子や身体を動かして楽しむ姿も見られました。次回は1月に開催予定です。ぜひお立ち寄りください♪



## ～自分でできる！自主トレメニューの紹介～

前回から始まった自主トレメニュー紹介シリーズ。今回は脳卒中患者のための下肢自主トレですが、第2回となる今回は下肢自主トレです。無理のない範囲でぜひ取り組んでみてください。

### シリーズⅡ 脳卒中患者のための下肢自主トレ

#### ●ふくらはぎのストレッチ

1 傾斜台に両足を乗せる。痛みが強い場合は、角度を調整する。

台に乗る際は、まひのない側の足から乗せて、台から降りる際は、まひのある側から降りましょう。



#### ●足指のストレッチ

1 安定した椅子に座り、まひのある足をまひのない側の膝の上に乗せる。



2 手を使って足のつま先をそらし、指を伸ばす。

足首がねじれていないか注意しましょう。



#### ●立ち座りのトレーニング

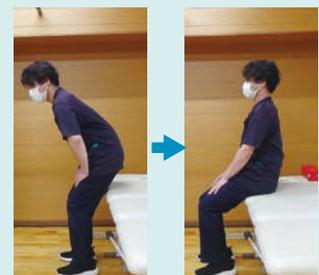
1 安定した椅子に座る。

2 両足に体重をかけて、反動をつけずに立ち上がる。



3 可能な範囲でゆっくりと座る。

回数や座面の高さなどは担当のセラピストに相談しましょう。



参考：手足の痙縮治療のためのリハビリテーション BOOK  
帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社